

平成26年度第1回東郷湖活性化プロジェクト推進会議 会議録

日 時 平成26年10月17日(金)午後1時30分～午後2時58分
場 所 湯梨浜町役場 2階第1・2会議室

1. 開 会

(仙賀副町長)

皆さんご苦労さまでございます。平成26年第1回東郷湖活性化プロジェクト推進会議を只今より開催したいと思います。いつもでしたら会長の山田修平先生がおられましてあいさつをいただくのですが、委員の任期が2年でございまして、レジュメの中にも新たに会長副会長の選任が入っております。そうしますと町長のほうからあいさつをお願いします。

2. 町長あいさつ

(宮脇町長)

皆さんこんにちは。今日は、お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。今日の東郷湖活性化プロジェクト推進会議は、新たに事例を出させて頂きまして、初会合ということでございます。役員の改選ですとか、あるいは今年度の上半期の目標に対する進捗状況、その辺りについてご検討いただき、更にはマンネリだとかという意見も多少耳に致しております、その辺りについて、今後どのようにしていくかあたりのことも御議論いただく予定としているようでございます。ちょうど、お手元にもありますけれども、10月19日ゆりはま市の日に合併記念式典を致すようにしております。この東郷湖活性化プロジェクトの構成委員さんの皆様方にも案内状は出させていただきました。それは、やはりこの湯梨浜の10年を振り返るときに、この東郷湖活性化プロジェクト推進会議が果たした役割、そこから生まれてきた成果というものは無視できない非常に有用なものがたくさんあったということで、ご案内をさせていただいたところでございます。そのような認識でございまして、当日の私の式辞の中でもその辺りを若干述べたいと思っておりますけれども、住民との協働という観点から言いますと、いろんな団体がこうやって連携しながら取り組んできたということは、本当にありがたいことだと思っております。この場をお借りしまして心からお礼を申し上げます。今日は先ほど冒頭で申しましたような議論をしていただきます。引き続き、湯梨浜町の活性化に向けてこの会が大きな役割を果たしていくことを期待しております。どうぞよろしくお願いいたします。

3. 委員自己紹介

(仙賀副町長)

そうしますと3番自己紹介でございます。新たに、この委員さんで10月から会議を進められるわけですが、それぞれ自己紹介の方をお願いします。

(※順次自己紹介)

(仙賀副町長)

ありがとうございました。

4. 会長及び副会長の選任

(仙賀副町長)

そうしますと、4番の会長及び副会長の選任を議題とさせていただきます。東郷湖活性化プロジェクト推進会議設置要綱の規定によりますと、会長及び副会長は委員の互選により選出するとなっております。そうしますと、選出についてでございますけども、いかがいたしましょうか。もし、立候補される方とかおられなければ事務局の方から案を出させていただいてよろしいでしょうか。(委員了承) ありがとうございます。事務局の方から案の方を出させていただきます。

(中本企画課長)

はい、事務局の案でございます。会長に山田先生、副会長に宮脇町長をとということでお願いしたいと思っております。

(※委員拍手。了承)

(仙賀副町長)

そうしますと、事務局案によります山田修平先生を会長として、宮脇町長を副会長として選出ということで皆さんの賛同を得られたと思っております。そうしますと、山田修平先生前の方をお願いします。改めて会長及び副会長を選出ということで、あいさつをお願いして、その後の進行もあわせてお願いいたします。

(山田会長)

続けまして会長を引き受けさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。この会も5年目になるのですかね。というようなことで、一つのパターンが出来てきたなと思っておりますけども、先ほど町長さんのご挨拶にありましたように、もう一段階上のやり方というので、また会のやり方というので一工夫あってもいいのかなと思っておりますので、その点も、またご議論いただければと思います。どうぞよろしく願いいたします。それでは、新しいメンバーでということで、そういう時には、このプロジェクトの概要をご説明いただくことになっているのですが、たまたま新委員3人の方がご欠席なのででしょうか。そういうことで、皆様ご存知の方ばかりなので、ちょっと概要説明はとぼして今日の協議事項の本題に入りたいと思います。それで、25年度に関しては、前回の会議で進捗状況を確認済みですので、今日の協議事項は26年度の前半の進捗状況をお示しいただくと。そこから入りたいと思います。それから、マキシマム3時には終わりたいと思いますので、よろしく願いいたします。それでは「26年度の事業進捗状況について」ということで、あの、従来のおり順次それぞれの担当課からご説明をお願いします。まず、環境のところのNo.1からお願いします。

4. 協議事項

(1) 平成26年度事業進捗状況について

No.1 「水草(セキシウ藻)の移植について」

(前田町民課長)

はい、最初に1ページでございます。「水草(セキシウ藻)の移植」ということで

ございます。従来、平成25年度まででございますが、それまでは水草の刈取、それから肥料化ということで取り組んでまいりました。ただ、近年、その水草そのものが非常に少なくなったというか、刈り取る量が確保できないということもございまして、平成26年度につきましては、新たに東郷池の方で既に絶滅されていたと思われていたセキショウ藻が発見されたということもございまして、セキショウ藻の移植を取り組みとして考えているところでございます。セキショウ藻の移植につきましては、10月の5日に衛生環境研究所の指導の下、メダカの会、それから東郷湖漁協等の協力を頂きながら実施したところでございます。現在までの評価ということで、今後は、積極的に町民の方へのPR、それから今後の活動等について協議していく必要があるというふうに考えております。

(山田会長)

はい。そうですね…今日は環境、観光、産業、資源と行きますが、環境が終わったところで、またご質問。それから、観光が終わったところで、またといった形で、とりあえず、環境の「1」「2」「3」「4」をご説明ください。

No.2 「東郷池を守るアダプトプログラム制度の推進」

(前田町民課長)

はい。続きまして2ページでございます。「東郷池を守るアダプトプログラム制度の推進」ということで、これは、昨年と変わっておりません。今年度につきましては、32団体を目標に活動をしてきております。現在のところ1団体が新たに加わっていただきまして31団体というところで、達成度といたしましては現在50%というような状況でございます。町報等で活動内容についてはご報告をさせていただいているところですが、いろんな大会を通じて広報活動等、それからまた、活動団体の情報等、積極的に提供していければというふうに考えております。以上です。

(山田会長)

はい。じゃあ、3のところをお願いします。

No.3 「内水面の環境保全」

(清水産業振興課長)

「内水面の環境保全」ということで掲げております。事業主体の方は東郷湖漁業協同組合さんでございますが、その中でクリーンアップ作戦ということで、9月の27日に漁協さんを中心としまして、クリーンアップ作戦を実施したところでございます。そのうちごみの回収量は3.2㎡ということで、昨年のごみの回収ということでございます。それとあわせて内水面の漁場の環境保全事業としまして覆砂事業ということで、砂を池に覆砂しております。これが毎年補助金を頂きながら、シジミの環境保全に努めているということでございます。以上でございます。

(山田会長)

はい。もうひとつ4のところをお願いします。

No.4 「稚魚放流調査」

(中本企画課長)

「稚魚放流調査」ということで、毎年、サケの稚魚を放流しているわけですが

も、これにつきましては、11月からという形になっておりますので、現在進捗はございませんので、報告は「進捗なし」ということでご理解いただきたいと思います。

(山田会長)

いかがでしょうか、今の4つの取り組み等に関して、ご質問やご意見がありましたら、ありますか。よろしいですか。他はいかがでしょう。

環境分野意見交換等

(長谷岡委員)

意見とか、そういうのはないのですが、よろしいでしょうか。衛生環境研究所なんですけど、今の「セキショウ藻の移植」をちょっと補足といいますか、5日の日にうちの職員とメダカの会さんとそういう作業をしたということなんですけど、実際うまく根付いているかというのが心配なところなんですけども、かなりいい感じで移植が出来ているのでないかということで、職員会の報告を受けていますし、私どもの研究として、来年度、27年度に、このセキショウ藻を私たちの研究の中で、昔の池の泥の中からです。それを発芽させて、今回移植したということで、既に生えている物を場所を移したということじゃなくて、育種、育苗といいますか、そういった技術を使ってやってみたということにして、そういったことが出来れば、耐用性の問題ですとかそういったことにも対応できるでないかということで、27年度は本格的に当初の研究として取り組んで、町の皆さんと一緒に更に進めていきたいと思っているところです。

(山田会長)

はい、町長さん。

(宮脇町長)

セキショウ藻のことが、聞きたかったということで、今これが植えている場所はどこなのかということ。それともう一つは、これは役場の者が考えることかもしれませんが、アダプトプログラムと同じような発想で、やっぱりここはこうやって植えてますよとって、人にわかるような形でしておくのが良いかなと思ったものでして。

(長谷岡委員)

あの、今回植えた場所は、確かメダカ池…

(高野委員)

じゃなくて、実際に植えるのを手伝いまして、初めはメダカ池ということで考えておったんですけども、ちょっと他の水草も生えているし、非常に汚れているというようにもあって、深さもないという話ですけども、他にいい所はないだろうかということで、役場の方と、それから衛研の方と我々と見に行きまして、元のテニスコートのあったところ、水生植物園ということでしょうか名前は。あそここのところの池の中に、だいたいこれくらいのプラスチックの箱に植えてありまして、それを4箱ぐらいですか、それを1/4ぐらいに切って竹杭で押さえてですね、笠田あたりに植えているという。それでこれくらい(20cm程度)伸びておりまして、更にこれくらい(50cm程度)まで伸びるようですけども、いい具合に育っておりました。これから鳥が

来るからされんといったことや、ばれないようにとかというようなことも考えておられますし、我々の方も協力していきたいと思います。みなさんに関心を持っていただいて、ちょっと行って見ていただけたらと思います。

(前田町民課長)

また、協議をさせていただく必要はありますけども、看板等設置ができたらと考えております。

(山田会長)

えっと、他に環境関係いかがでしょうか。よろしいでしょうか。また、後ほど時間があれば、戻りますので、あれば。じゃあ次、観光のところ幾つかありますけども続けてお願いします。

No.5 「池等の産物料理メニュー化促進」

(清水産業振興課長)

はい、5ページの方をご覧くださいと思います。「池等の産物料理メニュー化促進」ということで進めております。その中で、はわい温泉・東郷温泉旅館組合さんが、昨年から一生懸命がんばっておられます「スッポン養殖」でございます。来年3月のメニュー化に向けて、今養殖は順調に進んでおるということで、10月に今年度分の稚ガメを購入予定ということで、450匹を購入する予定を考えております。それで、水槽に今、昨年からの稚ガメも入っております、今度この新しい稚ガメを放流するというので、移動をです、(昨年購入した)稚ガメの移動のことで、10月には水槽を移動させるということで聞いておりましたが、まだ、こちらの方には情報は入っておりませんが、順調に育っておればというふうに考えております。中には、猫に食べられたということも聞いておったところでございます。それから、もう一つでございます。ウオーキング弁当でございます。商工会女性部の方にお世話になりながら「天女からのおくりもの」ということで、お弁当を作っておられます。その内580個、10月末現在の見込みで販売という結果となっております。以上でございます。

(山田会長)

はい。続いて6番目をお願いします。

No.6 「カニバス事業」

(清水産業振興課長)

はい。続いて「カニバス事業」でございます。はわい温泉・東郷温泉旅館組合さんが、実施主体となって取り組んでおられるカニバスでございます。そこに書いてありますとおり、今年度のバス同乗に関し、昨年はシルバーに委託していたものをガイドの会で対応し観光案内を充実させるよう協議を進めているところでございます。また、カニバスの検討会を10月1日に開催いたしまして、26年度のチラシの製作、あわせて各地への営業活動を開始したところでございます。ちなみに、一昨年、平成24年度に、このカニバスを利用された方の数が5,294人。昨年、平成25年は4,293人という結果となっております。以上でございます。

(山田会長)

はい。じゃあ、7番目をお願いします。

No.7 「特産品販売促進活動」

(清水産業振興課長)

はい。「特産品の販売促進活動」でございます。その中では、町特産品のPR事業として販売促進等を行ったところでございます。その中で、まず最初に5月でございます。県の植樹祭がございまして、この植樹祭に農産物の加工品、あわせて湯梨浜アイスの販売・PRを実施いたしました。加工品では50点ということで、アイスは80個販売いたしました。加工品の主なものは、「するめの麴漬け」「梅のうま漬け」が良く出たということでございます。6月におきましては、6月29日に中部食のみやこフェスティバルにおいて、農産物加工品及び湯梨浜アイスの販売PRを実施したところでございます。加工品と農産物で約400点、アイスは140個販売いたしました。ここの中では、加工品の主なものは、はまなす（加工研究グループ）さんが作られております。「つわぶきの佃煮」がよく出ていたというふうには聞いているところでございます。8月におきましては、17日に中国地区キッズコレクション、米子ビックシップでありましたが、そこに湯梨浜アイスの販売PRを実施いたしまして、40個を販売したというところでございます。以上でございます。

(山田会長)

はい。8番目をお願いします。

No.8 「観光商品造成戦略活動」

(清水産業振興課長)

はい。「観光商品造成戦略活動」でございます。これは、観光協会の予算の中で対応しておりますが、9月の3日4日に県観光連盟主催の観光情報説明会、大阪・広島に参加しております。その時に、観光商品のPRを行っております。観光ガイドの方でございますが、活動がスタートして9月末で計14回のガイド活動を実施しております。お客様からも好評をいただいているというような、声を聞いておるところでございます。以上でございます。

(山田会長)

はい。9番目をお願いします。

No.9 「燕趙園エリア活性化事業」

(亀田委員)

はい。「燕趙園エリア活性化事業」ということで、燕趙園のみならず、龍鳳閣、吉華等を含めた燕趙園エリアでの賑わいの創出と、それから、燕趙園から望湖楼を発着とした遊覧船の観光商品。それから、道の駅燕趙園などの活用。そして地域との連携というところで、来園者の増加促進に努めるというところで計画を立てております。今の状況としましては、実績のところですが、毎月のイベント等、夏の「トミカプラレールフェスティバル」等で、個人客は微増しておりますが、団体客の方が若干、ちょっと落ち込んでいるというような状況であります。それから、遊覧船につきましては、今現在、船の方がちょっと故障中ということで、4月からは運行していない状況であります。そして、その他周辺の芝生広場でのグラウンドゴルフ（について）無料で貸出を行っていますが、毎日のようにグラウンドゴルフのお客様に来ていただいて、周

辺の賑わいを盛り上げていただいております。それから、道の駅燕趙園が発足して2、3年経過しておりますが、観光客の方に地元の特産品が非常に喜ばれているというところで、地元の物の商品等を置いて活性化に努めたいと思っております。以上です。

(山田会長)

はい。10番目お願いします。

No.10 「ホワイトライアスロン in ゆりはま」

(清水産業振興課長)

はい。「ホワイトライアスロン in ゆりはま」ということで、実行委員会を中心に6月に実施いたしました。その中で、実績に書いてありますように選手321人、23組の参加があったということでございます。事故等なくできたということでございます。ボランティアも目標としていた450人以上に協力いただいたというところでございます。あわせて、旅館組合と連携した宿泊プランでございます。利用者が170人これは、選手の家族も含めた人数でございます。そして、選手に競技及び観光についてのアンケートを実施して、現在集計しております。その中で、集計結果を、若干報告させていただきます。大会運営の全般につきましては、97%の方が満足しているという回答をいただいております。その中でバイク、ランコースについては80%以上の満足度でございます。ただスイムだけが50%台ということで、そういう満足度をいただいているところでございます。あわせて、湯梨浜町の雰囲気、景観につきましては、9割の方が満足しているという結果をいただいております。ただ、おいしい食べ物につきましては32%、お土産につきましては22%と若干低い満足度の結果となっております。今後、これを検証しながら、次回に検討していきたいというふうに考えておるところでございます。以上です。

(山田会長)

はい。後ほど、またご質問、ご議論いただければと思います。11番目お願いします。

No.11 「ゆりはま夏まつり」

(中本企画課長)

「ゆりはま夏まつり」でございます。毎年、実施しております夏祭りでございます。水郷祭が7月20日、とまりの夏祭りが7月の26日、綱引き大会が7月27日ということで、今年度、実施させていただきました。目標といたしましては、ホームページのアクセス数ということで、件数をあげておるわけでございますけども、目標3,400に対しまして2,995件という形でございました。目標の方にはちょっと達してなかったという状況でございました。それと民間企業の方は、ホームページ、雑誌に挙げるという件数は14件という形で、昨年と同じく14件という形で、これについては目標を達成したのかなと思います。来客数でございますけど、今年度は天候にも恵まれまして、数字はあげておりますけども前年度より多かったというような形で思っているところでございます。続きまして「中華コスプレ」についてご説明させていただきます。

(山田会長)

はい。お願いします。

No.1 2 「中華コスプレプロジェクト」

(中本企画課長)

はい。中国庭園のほうで中華コスプレを2回開催していただいております。まず、第15回中華コスプレ日本大会ということで5月17日、18日という形で開催されました。撮影会、交流会に180名参加ということでございました。それと、第7回の中華コスプレアジア大会を11月でございますが、15日から16日に開催される予定とされております。それで、現在までの評価ということでございますけども、第15回の中華コスプレ日本大会につきましては、前年度並みの参加であったということでございます。あと、来年度はポスター用の写真を公募するなどして、今後もう少し参加増を図るように考えられております。第7回中華コスプレアジア大会でございますが、10月13日現在で申込者数が85名でございます。海外からの参加が32名となっております。今大会は日本語の話せる外国人プレーヤーを招きシンポジウム実施する予定としておるということでございます。また、当初計画しておられましたロシアとかフランスからのプレーヤーにつきましては、検討した結果でございますが、ちょっと来れないというようなこともあったということで、来年度の実施予定としていきたいということで聞いておるところでございます。アジア大会のほうは、目標としましては、170名程度という形でございます。これにつきましては、以上でございます。

(山田会長)

はい。観光の最後になりますが13番。

No.1 3 「東郷湖ドラゴンカヌー大会」

(中本企画課長)

はい。「東郷湖ドラゴンカヌー大会」でございますが、今年度6月の2日から7月11日までの申込みという形で、申込みが72件ございました。それで、開催日が8月10日ございましたけれども、開催する時に台風11号の影響という形で、今年度は中止となったということでございます。それで、ドラゴンカヌーの教室の練習につきましては20回実施されたということでございます。それと、県外のドラゴンカヌー大会に参加してPRをしてきたということで、3回程度PRを実施されているところでございます。現在までの評価欄でございますけども、台風11号の影響で今年度は中止となりましたが、参加チーム数は72チームで前年と同程度の申し込みであったということでございます。それと、この度新しい取組としまして、前夜祭においてマッチレース形式の「ナイトドラゴン」をする予定としていましたけども、台風の影響で今年度できなかつた。来年度は是非実施したいということでございます。また、今年度より年間通しての実行委員会を開催していき、既に来年度に向けての協議をより発展的に進めるということで協議を進めているということです。以上でございます。

(山田会長)

はい。観光全般あるいは個別の事業（の質問、意見交換について）何でも結構ですので、ありましたらお願いします。いかがでしょうか。

観光分野意見交換等

(山田会長)

さっき、トライアスロンの時のアンケート結果をお話になっていて、水質が50%であるとか、お土産が何%だとか、そのさらに細かい分析というのは分かっているのですか。今わかる範囲で（説明をお願いします。）

(清水産業振興課長)

（詳細な結果については）持って来ておりません。ひとつスイムの分については、不満という回答をした理由としては「水質が気になる。」ということで、「海を利用したい」ということも回答の中にはあったということでございます。あと、言われた「おいしい食べ物」と「お土産物」については、今、手元には持って来ておりません。また、検証してみたいと思います。

(山田会長)

検証して、また報告してください。他に何なりとありましたらお願いします。よろしいですか。それならば、次のところ産業でしたかね。産業のところをお願いします。

No.14 「水源域森林育成作業」

(清水産業振興課長)

はい。14ページをお開き願いたいと思います。「水源域森林育成作業」ということで、つけております。主な事業といたしますと、竹林の整備事業でございます。ご存知のとおり竹林が枯れて、こういう状態を皆様方も目に見受けられると思います。その中で、タケノコの生産林とあわせた竹林整備につきましては、今年度、26年度現在4件申請が出ておるところでございます。ただ、間伐事業につきましては、なかなか申請が出てきていないというのが今の現状でございます。タケノコ生産林とあわせた竹林整備におきましては旧東郷地域が2件、それから、泊地域が2件というような状況となっております。それで、タケノコの生産とあわせてということで、センコーさんがタケノコを買われるということで、農家の方が自分の竹林で取れたタケノコを持って行って、それをお買いいただくというようなことになっておりますが、現在、1キロあたり個人の持ち込みは1キロあたり100円ということで、センコーさんがそれを買って取ってくださいます。それから、グループで申し込まれますと、1キロあたり120円ということでセンコーさんが買い取るということになっております。ただ、中部圏域に声をかけられておりますが、なかなか（タケノコが集まらない）受入は年間30トンくらいまでは受け入れられる計画を持っておられまして、その中で今年、26年は7トンしか実際入ってこなかったと。25年は14トン持ち込まれたけど、今年は半分の7トンほどというふうなことで、まだまだ受け入れはできますので、PRの方よろしくというようなこともセンコーさんから言われております。このことについて、こちらの方も広報していきたいと考えておるところでございます。以上です。

(山田会長)

はい。次は15番お願いします。

No.15 「エコファーマーの推進」

(清水産業振興課長)

はい。「エコファーマーの推進」ということで掲げております。環境に優しい東郷池の水質に関すること、化学肥料・農薬の軽減を図るということで、エコファーマーの推進を掲げて取り組んでおります。その中で、水稻・大豆においては、減農薬・減化学肥料に取り組み、果樹については、防除後の残農薬の適正処理について、農協と連携し栽培農家に周知を図るということで進めております。20の果樹農家におきましては、園芸試験場と減農薬唯一の研究機関と情報収集し、活用できる減化学肥料栽培を目指したいということで、取り組んでおるところでございます。今現在、水稻のエコファーマーは、現在50名ということで、これは、現在、方地集落が環境保全事業ということで、エコ米を作っておられます。今日の日本海新聞に載っておりましたが、松江の方から視察に来られていて、大変いい取組だということで帰られたことがあります。あわせて、そこに書いてありますとおり、実績で5月に埴見集落で5月27日、あわせて方地集落28日に減農薬によります「浅水の代かき」を実演しております。それから、7月にはホームページに環境型農業についての掲載をしておるところでございます。以上でございます。

(山田会長)

はい。16番目お願いします。

No.16 「シジミの生息環境改善対策」

(清水産業振興課長)

はい。「シジミの生息環境改善対策」ということでつけております。実は、なかなかシジミの生産量が進まないということもございまして、どうやったら昔のようにシジミがいっぱい店頭に出せるかということの中から、平成26年度の県の補助をいただきながら、生産施設整備事業補助金というものが、この26年度県の方から出されまして、町と1/3ずつ補助金を出し合いながら、この生産施設整備事業を現在行っているところでございます。その内容といたしますと、6月末に養殖用のビニールハウスを建設。これは、東郷地域の水明荘の西側の所にビニールハウスを設置し、その中で養殖しているということでございます。7月に産卵いたしまして、現在、養育をしているところでございます。顕微鏡の段階で約1800万個養育しているということで、これが、実際11月に放流予定でございますが、1割残ればいいかなというようなことで、現在、取り組んでおるところでございます。以上でございます。

(山田会長)

はい。産業関係何か、何なりとありましたらお願いします。

産業分野意見交換

(津村委員)

今のタケノコの竹林整備しておられます。私も通るときに原の所で見るとですけど、あれは、イノシシ対策はどうしておられるのでしょうか。うちのタケノコでもイノシシが掘ってしまって我が家で食べる物が少なくなっているのですけどね。あれ(竹林整備している所)を見ているのにイノシシ対策はこれからどうされるのかなと思いつつながら通るものですから、そういうところの対策はどうなっているのでしょうか。

(清水産業振興課長)

基本的には、今言われたことについては鳥獣被害対策ということで、畑だとか田んぼ等の農産物の被害に対することで助成措置があります。竹林というのが農産物になるのかということがちょっとありましたけども、大丈夫だというふうに聞いておりますけど。それで、ただ、その時に申請を産業振興課に方に出していただいて、どういうふうにされるかという話をさせていただければと思うのですけれど。

(津村委員)

今の竹林整備をされておられる方は、そういう方向に進んでおられるのですね。

(清水産業振興課長)

いや、していないですね。

(高野委員)

そのグループと関係してございまして、去年はですね古いのを斬ったり、必要な物は残したり手入れをして、さらに廃物利用といって（斬った）竹そのものは小さく刻むとか粉にしまして、それをその場に巻くとか肥料にするというようなこともやっております、この度は、今言われたようにイノシシ被害でほとんど採れなかったと。センコーさんがどこか（採れる所は）ないかと探しておられたというようなことは知っております。それは（鳥獣被害対策）はできるのですけども、割合、範囲も広いし、お金の面もありましてね、今言ったように補助を受けてしようと思ったらできるのですけども、それが経済的に合うかどうかというようなこともあって、今検討しているところです。

(山田会長)

他に。どうぞ。

(古田委員)

シジミの生活環境改善の若干の情報提供でございます。この取り組みの中でハウスを利用した稚貝を生産して放流する取組み以外にですね、点検しながらですね、特に水門操作を治水の関係でコントロールしながら産卵させて稚貝を発生させて、それで生き残りを高めていくというような取り組みをこの間から開始しております。そのために湖内に2箇所、橋津川に1箇所ですねセンサーをつけて、リアルタイムでホームページにも掲載しておりますけども水質が分かるように、どのように水門を操作したらシジミが安定的に発生して、それで湖の環境を悪くすることがシジミをどうするかというのを、もう一回見直そうと始めておりますのでご紹介（ということで、）その中で平成24年生まれのシジミが順調にかなり生き残っているということで、来年あたりから順調にいけばですね、シジミが増え始めるのかなと予測しているところです。

(高野委員)

今シジミの養殖ということで、産業振興において重要なわけですけども、それと環境で水草を育てるということと。かなり逆に…シジミを育てようと思うと水草が育たんということもあるようでして、まあその辺の細かいことが我々ではわかりませんが、衛生研究所だとか、あるいは栽培漁業センターの方で研究していただきまして、それぞれのことがうまくいくように、これは難しいことなのですが、ですからある意味では、たとえば一つの考えとしては、セキショウ藻等は土と砂とあるような所に生える

わけですね。そうするとシジミを取れば（セキショウ藻の育成に）マイナスとなるということになると。塩分も（セキショウ藻の育成に）多少マイナスになるかと思いますが、水嵩を増やして塩分を増やすとですね、そういうようなこともあって、実験的にある地域、今までシジミを獲っていたような所を何年間か獲らないで、水草が生えるとか場所の変化を観るというようなこととか、これは私の思いですけども、何かの方法で研究機関でですね関係を調べていただいて両方うまくいくように、これは難しいことだと思うのですが、考えていただいたらという要望でございます。

（古田委員）

今のことについて、若干補足でございますけども、シジミだけの視点でやるのではなくてですね、やはり環境という視点を重視、あるいは治水という視点を重視しなければならないということで、栽培漁業センターだけでなく、もちろん漁協さんも中心となって、あと湯梨浜町役場さん、それから衛生環境研究所さんにも参加いただいて「東郷湖サロン」というものを来週（開催する。）ですね、そういうことで連携しながら、あとは鳥大工学部さんに入らせていただきながら、水利工学にも入らせていただきながら、やって行こうということで、複数の視点で進めていこうと思っております。それから14、15年度に第1回目の水門操作によるシジミ増産実験をして、それで爆発的にシジミが増え始めたわけなのですが、そのマニュアルを基にして平成16年度以降、漁協さんあるいは水門操作の方も含めてですね、水門をきちり管理されながらシジミを大增殖させられたという経緯がありまして、まあ、その当時、観察している中で、徐々に実験以後ですね水草が増えてきたという、その範囲が増えてきたという経緯がありましたので、まあ、透明度が上がるだとかそういうのは別の複数の種類の、覆砂も対象としたそのような環境の変化と言える可能性があると考えています。

（山田会長）

是非、連携していろんな角度から考えてみてください。他はいかがでしょうか。では、次のパートへ今度は資源のところへ行きたいと思えます。17番お願いします。

No.17 「東郷池周辺地域の浸水対策」

（赤川県土整備局計画調査課長）

そうしますと、17ページの「東郷池周辺地域の浸水対策」ということで、東郷池の項目としては堤防の嵩上げと周辺道路の嵩上げということで計画を考えております。堤防の嵩上げにつきましては、松崎周辺の四ツ手網があります東公園からポプラの周辺ないしはポプラの周辺から旭旅館の周辺の測量調査等を行ったり、地質調査を行っております。現在、その区間において、東郷池に流入する川がありますので、その川に対して樋門を設ける計画を考えておまして、今年度としましては、東公園からポプラ付近の東公園側の方を一部堤防の嵩上げを着手したいというふうに考えていますが、時期としては現在のところ未定でございます。それと、県道関係の道路の嵩上げでございます。そこにありますように、長和田羽合線、門田周辺の地区につきましては、25年から工事にかかっておまして、この門田地区につきましては26年度をもって完了ということで、今、努力しております。それと、東郷羽合線の南谷地区それと東郷湖線長和田と書いてありますけども、あの上橋津につきましても測量実

施を完了しております、そのいわゆる浸水対策、道路につきましては嵩上げになりますけども、今設計を実施中でございます。東郷湖線の上浅津については、27年度には着手したいと考えております。県関係のみならず、町の方としましてもですね、町道の門田長江中央線におきましてもですね、現在、調査等を行っていただいております、2月には工事着手に向けて準備が進められておる状況です。現在までの評価としましては、概ね計画どおりに進んでいるというふうに考えております。以上です。
(山田会長)

はい。続いて、次のところを18番。

No.18 「東郷湖周辺道路整備事業」

(赤川県土整備局計画調査課長)

はい。18ページですね「東郷湖周辺道路整備事業」ということでして、この周辺の道路の歩道整備を主眼としております、藤津からですね宮内までの未整備区間と、それと先ほどの四手網の少し西側の方の釣具屋さんの所の信号より少しやや西側からですけども、松崎駅の湯の花観音ですか、あのあたりに掛けて整備を行いたいと考えております。東郷湖線の藤津から宮内にかけては、現在、皆さんにご迷惑をかけておりますけども、概ね順調に進んでおまして、現在のところ予定としていました25年と26年度の部分につきましては当該年度で実施を完了するというふうに考えております。ただし、27年度以降につきましては、宮内の手前に大きな曲り角がありますけども、あそこ付近に差し掛かるわけですけども、これにつきましては、少し用地交渉が難航しているので、様子を見ながらその前後の周辺を整備していきたいというふうに考えております。続いて、県道倉吉青谷線といいまして、松崎駅前の整備につきましてですけども、5月の下旬に住民説明会を開催しました。概ね計画についての理解は頂いたというふうに考えていましたけども、一部の地権者の方からですね現計画ルートについての要望がありまして、いろいろとこの要望に対する検討を重ねて参りまして、交渉を行って参りました。ただし、どうしてもちょっと交渉が難航している状況にありますが、これにつきましてもですね町と県と連携しながら、早期解決を図って早く詳細設計の着手なり、工事の着手に向けて進んでいきたいというふうに考えております。以上です。

(山田会長)

はい。19番目お願いします。

No.19 「東郷荘絵図活用導入事業」

(山田生涯学習・人権推進課長)

はい。19ページ「東郷荘絵図活用導入事業」ということで、東郷湖周辺の遺跡や史跡の活用を図りながら、町の情報発信を積極的に行っていこうということで事業を展開しております。今年度の事業といたしましては、歴史講演会、ガイドブックの作成、看板、展示パネル等の設置作成等でございます。歴史講演会につきましては、次の次の日曜日10月26日役場講堂のほうで、滋賀県文化財保護協会の辻川先生をお招きをして、埴輪に刻まれた人物の謎に迫るということで、馬ノ山4号墳出土の線刻人物埴輪をテーマにした講演会を開催することとしております。それから、ガイドブ

ックにつきましては、原稿の方は現在校正の段階ということで、年度内の完成を目指して進めているところでございます。看板・展示パネルにつきましては、内容を検討中というところでございます。以上です。

(山田会長)

はい。20番目お願いします。

No.20 「ゆりはま塾」

(中本企画課長)

はい。「ゆりはま塾」でございます。町の歴史、伝統、自然等に関する知識や技術を習得して、次世代への継承を図るということで、このような「ゆりはま塾」を開催して参りました。それで、まあ、今年度の実施状況でございますけども、5回の学習会を開き、9月28日にはゆりはま塾という形で、生涯学習・人権推進課の主催の会に参加していったということでございます。ホームページでの活動も公開5回という形で実施して参りました。しかし、このゆりはま塾も6年を経過するというような状況で、ひとつは町の観光ガイドというような組織が出来た経過もございますので、今後は観光ガイドの方の組織と一体となった形で、活動をしていくというような形で方向性を考えているという状況でございます。以上でございます。

(山田会長)

はい。21番目お願いします。

No.21 「東郷湖・未来創造会議（天女のふる里づくり事業）」

(中本企画課長)

はい。「東郷湖・未来創造会議（天女のふる里づくり事業）」でございます。実施状況でございますけども、この天女のふる里という形で、町の方が取り組んでいる訳ですけども、まず、ひとつがですけども、実績の欄を見ていただきたいと思います。天女キャラクターのデザインの活用としましては、51件現在申請という形でございます。それと着ぐるみの活用でございますが29件の活用を図っているところでございます。また、ホームページのキャラクター関連情報の更新としては、一回やらせていただいております。イベントへの参加という形で、県外とか県内でございますけども2件という形で参加しております。それで、今年度の事業として「フラワーロード事業」という形で、東郷湖周辺の県立公園の中でございますけども、その中にウォーキングをされる方への一つの魅力アップという形で、未来創造会議の方で提唱されておる事業として、オンリーワンの公園という形で、花が年間通して見れるような形でやっへ行こうというようなことを計画しております。今回この「フラワーロード」について未来創造会議の中で議論をしたところでございます。それで、次が「案内看板の設置、検討、関係者協議」という形でございます。今年度、案内看板を東郷湖周辺に5箇所程度計画しております。これにつきまして、今後、ちょっともう10月となっておりますけども、看板設置を進めていきたいと考えております。それと、次は宮内の入口の方でございますが、トイレの設置という形で周辺道路2kmぐらいの間にトイレを設置していこうという形で、進めておまして、宮内の所に今年度、設計及び施工というような形で、今進めているところでございます。それと、後からまた

説明させていただきますけども、今年度「天女サミット」という形でアロハホールの方で開催する予定としております。天女の伝説等々を持っている関係市町村がアロハホールの方で集まって天女サミットを開催するという形で、現在、関係市の方に協議をしながら進めているというような状況でございます。あと、下の方の評価の方に書いておりますけども、ひとつ入ってきておりますのが、「フラワーロード」事業として東郷湖羽合臨海公園において、今年度から5カ年計画で長和田地区のところでございますけども、あそこの足湯よりちょっと手前の方でございます。その、ちょっと盛り上っている所ですけども、県の方というか、公園管理の方が芝桜を、今計画されているという形で、5年計画の間で、芝桜を植えて行こうというような計画が、現在あるところでございます。それと、あと一つございますけども、あの、日米友好のハナミヅキというようなことを、今計画しております。あの、アメリカの方のクリントンさんですけども、そちらの方に行った時にハナミヅキを、桜を贈った関係で日本の方にもお返しという形でハナミヅキを日本の方に送られました。そのハナミヅキを大使館の方からいただいて、公園及び周辺の道路に植えて行こうかなというようなことを、今計画しておるところでございます。これから、またアメリカ総領事の方に申請したりということが出てきて、OKをいただければ、今年度3月末くらいにこのハナミヅキを植えて行こうかなというような計画を現在させていただいているところでございます。以上でございます。

(山田会長)

はい。22番お願いします。

No.22 「ウオーキングリゾートプロジェクト」

(蔵本健康推進課長)

はい。「ウオーキングリゾートプロジェクト」でございます。実施の方針といたしましては、公認指導員の連携強化と教室の充実とそれからノルディックウオーキング大会の実施ということ掲げております。公認指導員の連携強化につきましては、つい、先週指導員会を行いまして、情報交換を実施したところでございます。教室につきましては、先ほどドラゴンカヌーの話もありましたが、8月の教室が台風の影響で中止となりまして、この関係もありまして、目標に対する達成度のところですが、現在のところ189人ということで目標400人に対しまして、47.3%ということになっております。それから、いよいよ湯梨浜天女おもてなしウオークが明日に迫りました。現在約500名の方の参加申込をいただいているところでございますが、本日、お手元の方にもウオーキングのチラシを配布させていただいております。当日参加も受け付けようというふうに考えておりますので、委員の皆様をはじめご家族の皆様、事前の申し込みが無くても結構でございますので、費用が千円かかりますけども、どうかご参加の方をお願いできればと思っております。それから、チラシの左下の方にも書いてありますが、これは本日、金曜日になりますが、ゲストウオーカーとしてお招きしております荻原健二さんの講演会を本日午後7時から中央公民館で開催するようにしております。これは申込が要りません。是非とも、こちらの方にもごぞってご参加いただけますと大変ありがたいなというふうに思っております。よろしく

お願いいたします。以上です。

(山田会長)

はい。続いてお願いします。

No.22-1 「ウオーキングリゾートプロジェクト (ウオーキング・ノルディックウオーキング大会)」

(中本企画課長)

はい。24ページ。同じく「ウオーキングリゾートプロジェクト」という形で、町以外のウオーキングについてご説明させていただきたいと思えます。4月27日ですけれども、龍鳳閣のグルメウオーキングが開催され参加者76名という結果でございました。5月11日には、春の健康散策ウオーキングという形で、これは臨海公園の方で開催していただきました。321名の参加という形でございます。また、6月でございますけれども、7、8日にSUN-IN未来ウオークという形で、町内を歩かれました。(NPO) 未来さんの方がやっておられるのですけれども、参加者2,214名うち東郷湖周辺コースの参加が、186名でございました。あと、8月9日ナイトハイクという形でこれについては台風により中止しているところでございます。それと、あと計画としましては、SUN-IN未来100kmウオークという形で11月の15日から16日にかけて、100kmウオークがでございます。是非、参加していただきたいなあとということでPRもお願いしたいと思えます。

(山田会長)

22-2のほうですね。お願いします。

No.22-2 「東郷湖周 “げんきウオーキング” プロジェクト」

(中本企画課長)

はい。「東郷湖周 “げんきウオーキング” プロジェクト」という形でございます。これは、商工会さんの方が主となって事務局をやっているところでございます。ウオーキングを絡めた商品開発等もでございます。それで、進捗状況でございますけれども、8月11日でございますが、げんき梅の商品完成報告会を実施されました。8月13日から本格的な販売を開始されております。それで、8月22日には県知事の方に表敬訪問をされ、げんき梅を紹介されてテレビの方でも放映されたところでございます。また、9月10日でございますが、新商品の認定会において「手作り完熟梅ジャム」及び「完熟梅のシロップ漬け」の認定を受けておられるところでございます。10月ですけれども町内の観光施設のげんき梅のコーナーを展開されるということでございます。10月23日、24日には、東京のアンテナショップにてげんき梅の店頭販売を予定しておりますし、11月16日おもてなしウオークINゆりはまを実施予定と（しております。）これにつきましても、また、今後参加を呼び掛けていくというような形でございます。それで、現在までの評価という形でございますが、げんき梅の商品化及びPRの実施等概ね計画どおりに進行しておるわけですけれども、知名度も上がってきていると。そして今後は、ウオーキング大会の開催や観光マッチングフェアでの観光商品の提案及び大型展示商談会やアンテナショップでのげんき梅の出店を実施していく予定という形でございます。ですから、去年も引き続き、大阪の方で

ございましたけども、観光マッチングフェアという形で出られておりますし、今年度はもう一つ展示商談会という形で東京等も考えられているというような形で現在進んでいるところでございます。以上でございます。

(山田会長)

はい。17番から今のところまで資源関係で何かご質問やご意見はその他ありましたらお願いします。

資源分野意見交換等

(遠藤委員)

未来創造会議の関係で、あのフラワーロード計画というものをやっていますけども、藤津のあたりから南谷の方へ向かって行く所、出雲山の展望台もあるのですが、池が非常に見にくくなっているというのがありましてですね、樹木が大きくなっちゃって折角の展望台とか景観がちょっと勿体ないかなということがありまして、まあ、民有地だとか官有地だとかもあると思うんですけども、何とかあそこら辺が、折角、道からですね池が見えるような景観が造れないかなと、つくづく思っています、何らかの方法で地権者の方にアプローチして伐採が出来ればなと思ったところですけども、いかがなものでしょうか。

(山田会長)

どうぞ。

(宮脇町長)

あの、先ほど話しましたハナミヅキの関係で、実はアメリカの総領事が先週お見えになりました、どの辺りに植えるかといった説明を現地で話をして、それとついでに、まあ、ケネディさんも来てください、泊まりに来てくださいとお願いしたりしたのですが、なかなか難しいようでして、「どこもそうおっしゃいます。」という返事でしたので、困難な点はわかりますけども、その際、出雲山にご案内して、まあ、あそこは景色がいいのでちょっと覗いてくださいということで周ったのですが、ちょっとやっぱり、真ん中のところにあって、あそこから羽合の温泉のところ望湖楼の景色とかが見えないということが一つありますし、それから、松崎側と一体となった景色として、視界が悪いということがありましたので、これは刈らないといけないなと感じたところです。だいたいあの辺りは、ずっとシルバー人材センターの方に刈ってもらったり、適宜やっているところなんですけども、また、何らかの方法でやっつくべきだなと感じているところです。

(遠藤委員)

南谷において池沿いの道でも、草が生い茂っちゃって見えない所が有ったりするので、もったいないかなと思います。

(高野委員)

ただ、大きい木は邪魔になるというか、見えないということなんですけども、それなら木はみんな伐った方が、きれいによく見えていいのではないかなという考えがあるんですけども、しかし、伐ってしまうと蔓が、あれが生えてきますので、大きい木は基本的には大事にしないといけないと思います。ただ、選択伐採というかね「これは

伐ろう」と「これは残そう」というようなことでしないと、みんな伐ってしまっただ後は草ぼうぼうで、蔓が毎年生えて大変だということもありますので、その辺も十分考えていただいて、整備していただけたらと。これは、こちらから藤津の方に行く道路の池側も同じようなことが言えると思いますので、よろしく願いいたします。

(山田会長)

他にいかがでしょうか。

(川崎委員)

あのですね。目の高さで見えるくらいの景観になると一番ベストなんですけれども、大きい物は残してですね。ボランティアの方が、ときどき草刈機とか、それとか桜の側の竹なんかも何年かに(一回)刈っておられます。そうすると見晴らしが良くなってですね、これが続くといいなあってというのが理想でした。ありがとうございました。

(山田会長)

はい。他は…

(福楽委員)

すいません。この「ゆりはま天女おもてなしウオーク」なんですけれども、明日ですけれども、女性団体の有志が梨をサービス、全部で500人くらいにサービスをします。私は三八市の方の場所を担当なんですけど、これは女性団体の方じゃないんですけど。一宮さんと、それからもう一つどこでしたっけ。ippoのところでしょうか。あそこで、ぐるっと周られる方に梨を(サービスします。)新興梨ですけれども、紙カップに入れて爪楊枝をつけて差し上げるんですが、そんなんでもみんな歩いておられる方に、みんなお客さんにをテーマに女性団体が担当しておりますので、ちょっと一言。

(山田会長)

はい。じゃあ、最後23番をお願いします。このプロジェクトと自体の所ですね。

No.23「東郷湖活性化プロジェクト推進会議」

(中本企画課長)

はい。活性化プロジェクトでございます。この会合でございます。本日、26年10月17日に第1回開催しました。それで、次の計画でございます。ミスプリでございますが、第2回推進会議を27年3月に予定させていただきたいと思っております。進捗状況実績のところの「26年3月」を「27年3月」という形で訂正させていただきたいと思っております。以上でございます。

(山田会長)

全体を通して何かございますか。よろしいですか。じゃあ、協議事項の(2)の方の数値目標の達成状況というところをお願いします。

(2) 数値目標の達成状況について

環境分野

(前田町民課長)

はい。環境でございます。東郷池の水質CODでございますけれども、4.5mg/lということが目標に掲げてございます。このCODにつきましては、75%値ということがございますので、現在ではお示しすることが出来ないということをご理解いた

だければと思います。ただ、4月、5月、6月、7月まで水質を測っている中で、4月、5月については、昨年度よりもちょっと水質がCODの数値としては悪いと。ただ、6月、7月につきましては、若干ですけれども改善と言いますか、昨年度の同じ時期に比べると良くなっているという状況でございます。以上です。

(山田会長)

じゃあ、次の観光のところをお願いします。

観光分野

(清水産業振興課長)

観光人口でございます。26年度9月末現在で106,728人ということで、約6,000人ほど減っております。大きな要因としますと、昨年は出雲大社の遷宮があって、それに伴って観光客も増えたのではなかろうかというふうに考えております。何とか昨年度並みに持っていければと。あわせて計画は20万人を目標に、これからどんどんPRをしていきたいというふうに考えているところでございます。

(山田会長)

産業のところをお願いします。

産業分野

(清水産業振興課長)

続きまして、シジミの漁獲量の年間200tという大きな目標がありますが、達成状況を見ていただきますとおり、平成24年度からは夏季の、夏場の水温上昇等の環境変化によって減少したということで、25年度におきましては、更に夏季の水温が高く酸欠状態が続いたこともありまして41.4tということで、かなり半分以下に減ってしまいました。26年度におきましては、これから集計中ということで出てきますが、26年度に何tになるかは、まだこれから集計中で、もしも、補足で分かれば尾崎組合長の方で話していただけたらと思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

(山田会長)

いかがでしょうか。組合長さん。

(尾崎委員)

現在、あの、24年に(シジミが)殆ど死にましたので、それで、24年に若干、産卵したのがですね、現在、おりまして非常に成育も順調にあります。それで、前半は殆ど獲れなかったんですけど、後半、9月以降ですね、まあ、現在12kgということで出ておりますが、成育、大きさがですね、非常に小さいものが獲れましてですね、思うようにあがっていないというような状況でございますが、来年度に向かってはですね、若干期待できるのではないかなというふうに思っております。現在、あの、非常に小さくてですね、価格も下落しつつあります。なるべく小さい物を獲ってしまうと、東郷湖のシジミのイメージがダウンしてしまいますので、その辺も規制しながら、やっていきたいというふうに思っておりますので。昨年の41tということには、同じような格好になるでないかなと。集計してみた時にはですね。そういったことで一応、今、獲っているんですけども、東郷湖のシジミのイメージがダウンするのでは

ないかということで、非常に心配しているところでございます。以上でございます。
(山田会長)

この数値目標全般について、ご意見ご質問等ございましたら。よろしいですか。そうしますと(3)意見交換とありますが、もうずいぶん意見をいただいた感じがしますが、何か特にここで言っておきたいというようなことがあれば、おっしゃっていただきたいと思いますし、ちょっとあの次回以降なんですけども、このような形をやりつつ共通テーマを決めて、それについてみんなで理解を深めたい、意見を言い合いたいということもちょっと考えたいなあと思っていますが、いかがでしょうか。あの拡散的に言うよりも、このテーマで今日はみんなでちょっと話してみようというようなこと、そのようなことも考えたいと思います。そのテーマで、次回こんなテーマ面白いんじゃないかというようなご意見があればですが、急に申し上げて申し訳ないんですけども、事務局で何か、こんなこと考えたいというようなものがあれば、おっしゃってください。

(中本企画課長)

そうですね。これまで、まあ、もう少し深く、大きな視点で協議いただきたいなあというようなことを、ちょっと考えておりました。それで、例えば次回は、環境分野についてというような形で、まあ、4.5という指標を持っているわけなんですけども、目標をですね、それに対してどうなのかというような形でみなさんのご意見をいただいたりとかというようなことを考えてはどうかというようなことは思っているところでございます。

(山田会長)

さっきもちょっと話が合ったのですが、こっち(の分野)で良いことが、こっち(の別の分野)で悪いというような場合があるので、それを、どうトータルで考えてたら良いかという、そういう話はあるだろうと思いますし、そんな視点も含めながら、ちょっと、とりあえず、環境を相談してみてもどうかというご意見ですが、よろしいですか。そのようなことを、次回、次回と言っても3月になる訳ですけども、それもやると。もちろん、この中の意見をどんどん言っていただければ結構なんですけども。

(古田委員)

環境目標であれば、CODだけが基準値となっていますが、そうではなくて、議論するのであれば、軽く豊かな環境というような理屈で議論ができればと思います。

(山田会長)

そういう意味では、あの、我々、僕なんかは素人ですから、いろいろな指標を出していただいた方がありがたいと思いますけども。まあ、そんなことで、とりあえず次回は考えたいと思います。何かその他ご意見ありますか。いいですか。じゃあ、ちょっとその他のところへ行きます。天女のふる里づくり事業についてということで、お願いします。

6 その他

(1) 天女のふる里づくり事業について

(中本企画課長)

報告という形になると思います。天女のふる里づくり事業という形で作成いたしました。中を見ていただきますと、東郷湖活性化プロジェクトこの会議でございます。その概要と、並行して東郷湖未来創造会議というような形で会議を開いておりますので、こちらの方の概要説明をさせていただいて、2つあわせて天女のふる里づくりという形で、町の方が推進していくというようなことでございます。これが第1点でございます。それと、続きまして、10月19日でございます。10周年記念とあわせまして、ゆりはま市をアロハホールで開催させていただきます。11時10分頃から14時というような形で、このゆりはま市も開催しますので、また、10周年及びゆりはま市の参加をお願いしたいという内容でございます。それと、いろいろとイベントが続いているわけですが、10月の25日でございますけれども、アロハホールの方で宝くじふるさとワクワク劇場という形で、宝くじの助成金をいただきまして、吉本の芸人さん等と漫才、落語、落語は桂ざこばさんでございますし、漫才は宮川大助、花子及びフォーリンラブとかというような形で参加させていただきます。第2部のトークショーという形で、「ふるさとわが町あの人この人」という形で、町民の代表の方とルート33という人とトークショーを行うと。それで、第3部ではほのぼの Comedy 劇場という形で、座長はチャーリー浜さんを座長として町民の方9名程度になると思いますけれども、一緒にその劇の中にも参加していただいて、やっていきますので、また、(入場料は)2,000円でございますけれども、当日は2,500円ですけども、ご協議いただいて、見ていただきたいなと思います。それと、最後でございます。天女サミット。先ほど事業計画の中で申し上げました。11月22日でございますけれども、9時から12時アロハホールの方で、天女サミットを開催させていただきます。コーディネーターを福井昌平さんで、パネリストとして古川さんという方で川俣町長。この方は「川俣シルク」といって、薄い絹の製品を造られたところの町長さんという形でお呼びしているところでございます。それと長浜の方では副市長、京丹後の方は副市長という形で参加いただきます。それと、大阪の方の高石市の市長さん。それと倉吉市長。それと沖縄ですけど宜野湾の市長さんの方も参加意向を聞いています。以上のようなメンバーでサミットを開催しますので、また、依頼ばかりですけど、これについても来ていただきたいなと思っているところでございます。パンフレットにつきましては以上でございます。よろしく申し上げます。

(2) 町イメージソングについて

(中本企画課長)

あと9分ほどですけども、(2)のイメージソングという形を、町の方がこの天女のふる里づくり事業の中で、町のイメージソングというものをBGMですけども、作成させていただきました。町内の皆さんの方で、このようなイベント等がございましたら、活用していただきたいなということで、若干、時間をいただいてイメージソングを流させていただきます聞いていただければと。

(山田会長)

課長さんが歌われるのではないですか。

(中本企画課長)

ちょっと、歌は入っていませんけども、まずはBGMという形でよろしく願います。

(※町イメージソングの通常バージョン(アップテンポ)及びバラードバージョンを披露)
(中本企画課長)

というような形で、2つを作らせていただきました。(曲は)同じですけど、ちょっと(アップテンポの通常バージョンと)バラード調という形に変えさせていただきました。町の方もこれを活性化に使っていききたいなと思っています。最初の方(通常バージョン)は、ゆりりんが登場するとか、子ども達も一緒になって振付をしながらという形で活用していききたいなと思っております。よろしく願います。以上でございます。

(宮脇町長)

作曲について紹介をしてください。

(中本企画課長)

作曲は、倉吉市出身の門脇大輔さんに依頼して作成していただいたところでございます。それで、途中で「ゆりりん」という小さな声がありますけども、あれは保育園の子ども達に参加していただいて、声を出していただいたというような形で作成させていただきました。

(山田会長)

はい。その他事務局何かありますか。

(仙賀副町長)

その他ではないですけども、後ろの職員(事務局庶務)を紹介していなかったもので。

(山田会長)

じゃあ自己紹介してください。

(※庶務3名自己紹介)

(山田会長)

委員の方から何かこのことは言っておきたいということがありましたら…よろしいですか。事務局はもういいですか。じゃあ、今日はこれで終わらせていただいてよろしゅうございますか。ありがとうございました。